

2020 年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	とよあけ災害ボランティアネットワークサポートプロジェクト (とよあけ災害ボラネットサポートプロジェクト)
主な活動場所	<input type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input checked="" type="checkbox"/> 学外
担当教員	[所属・氏名] <u>医療科学部 医療経営情報学科 羽田 道信</u> <u>保健衛生学部 リハビリテーション学科 三浦恵二</u>
内 容	[プロジェクトの概要] 南海トラフ大地震はいつ起こってもおかしくない状況であり、また近年は地震以外にも大きな災害が各地で起こっています。防災意識が少しずつ高まってきている中で、起こりうる災害に備え出来ること、大切な人・命を守るために出来ることについての啓発、防災に関わる市民の人材養成の活動が必要です。 地域や学校関連などの依頼を受け、防災訓練の企画や運営などの活動を行います。
	[具体的な活動内容] ・ 地域や学校、行政関連などでの HUG、DIG など防災ゲームとグループワーク ・ 命を守り防災に繋がる知恵知識の伝授 身の回りのものを使った応急手当、新聞スリッパ、食器、簡易雨合羽、ポリ袋クッキングなど
	[活動に参加することで得られるスキル（チームワーク、主体性）] ・ 老若男女、様々な方々と関わることでのコミュニケーション能力、働きかけ力の向上 ・ 防災ゲームやグループワークなどを通じ、防災意識を啓発していく中での発信力や傾聴力の向上、ファシリテーション、課題発見 ・ 防災に強いまちづくりを目指す企画力、創造力、実行力 ・ イベント企画や実施にチームで携わることで学ぶチームワークの重要性 ・ 地域との情報共有
	[受け入れチーム数] ※ 原則6名以内／1チーム <u> 1 </u> チーム 【プロジェクト全体で <u> 6 </u> 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など] ・ 週末の午前中（特に春秋）が多い。平日午前の場合もあり。（夏休み期間など） ・ 活動状況により 終日もあり。
	[その他] 様々な世代、立場の方々と関わるまちづくり活動の一環です。 “若い”皆さんの柔軟な発想、創造力、感性、実行力などが必要な活動です。 将来医療系職種に携わる皆さんならではの専門性も生かしてください。